

退職強要?!

これって究極のパワハラじゃあないですか!

警察へ出頭or退職

鳥飼事業所の詰め所の入り口に傘立てがあるのを皆さんご存知ですか。利用された方もあると思いますが、その殆どが廃棄される傘の再利用品であることは周知の通りです。

過日、その傘立てにキャラクターものの傘がありました。あら、かわいい傘が置いてあるわ、捨てるのももったいないから貰っちゃえ、と思った従業員がいても何ら不思議ではありません。サービックで働く方なら、あるあるです。

ところが、その傘の持ち主がただ者ではありませんでした。何と、J Rから出向している科長さんの娘さんだったのです。アルバイトとはいえ、サービックに在籍している愛娘の怒りを聞き入れ、犯人捜しに奔走したのです。

セキュリティーのために設置されている防犯カメラを確認し（そんなために確認できるのか疑問）、当該傘を触っていた従業員を特定したのです。そして、その従業員を呼び出した幹部は、「警察に行くか、退職するか」と迫りました。これって、究極のパワハラではないでしょうか。その結果、その従業員は、仕方なく退職を選択しました。

相談室への訴えで発覚!

この事象は、J S労が開設した相談室への訴えで認知することになりました。当該の傘も持ち主に返却されており、「これからは誤解を招かないように注意してね」ぐらいで終わっている事柄であることは、皆さんが思っている通りです。

「そんな大切な傘ならロッカーに入れとき!」と娘を諭すのが普通じゃないでしょうか。傘と労働者の首を天秤にかけたこの行為は、親会社の幹部出向社員の顔色をうかがったにしろ許せない行為だと言えます。

組合は4月10日、団体交渉の席上で抗議を行いました。

メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp

